

2016年度（平成28年度）

コース名 生物学コース

領域名 分子細胞生物学領域

教員名 遠藤 剛

電子メール t.endo 理 faculty.chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	Maeda, R., Tamashiro, H., <u>Takano, K.</u> , Takahashi, H., Suzuki, H., Saito, S., Kojima, W., Adachi, N., <u>Ura, K.</u> , <u>Endo, T.</u> , <u>Tamura, T.</u>	<b>TBP-like protein (TLP) disrupts the p53-MDM2 interaction and induces long-lasting p53 activation</b>	<i>J. Biol. Chem.</i>		(印刷中)	2017	10.1074/ jbc.M116.763318

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 2名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

なし

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体、報道年月日、報道内容等）

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名、その内容、受賞理由等）

なし

(7) 国際共同研究（共同研究名、研究内容等）

所属	職種	氏名	共同研究名	研究内容	年度
Institute of Genetic and Biomedical Research, CNR, Italy	Head of Lab	Marie-Louise Bang	筋原線維形成の分子機構とその生理学的意義	筋原線維のアクチン線維形成の分子機構について、特に遺伝子改変マウスを用いて解明し、さらにその生理学的意義を明らかにする。	27

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

- 1) 日本生化学会 評議員
- 2) 日本生化学会 代議員
- 3) 日本細胞生物学会 代議員
- 4) 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員

(9) 特許(発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)  
なし